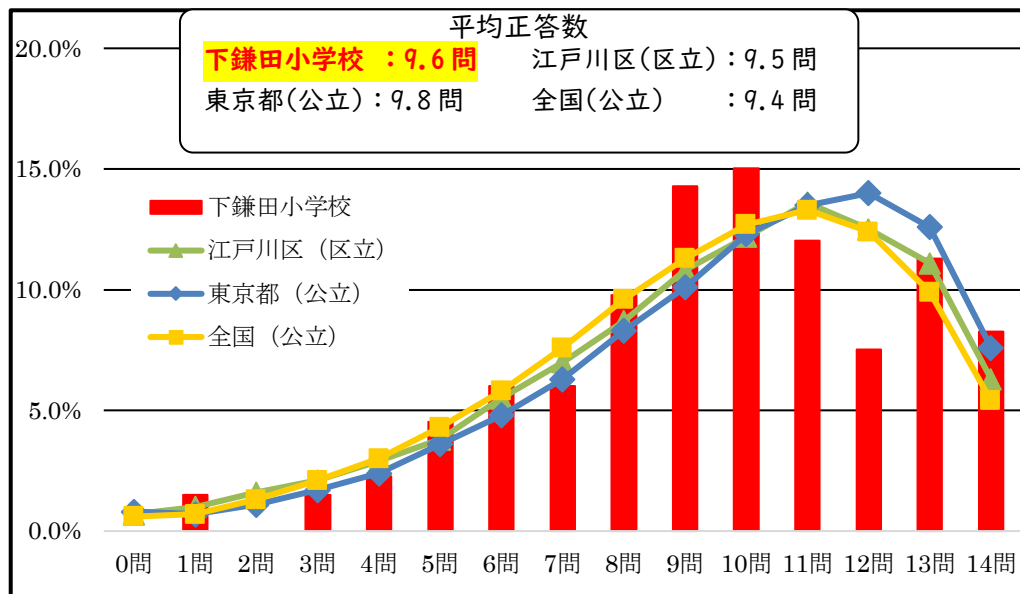


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 江戸川区立下鎌田小学校

正 答 数 分 布



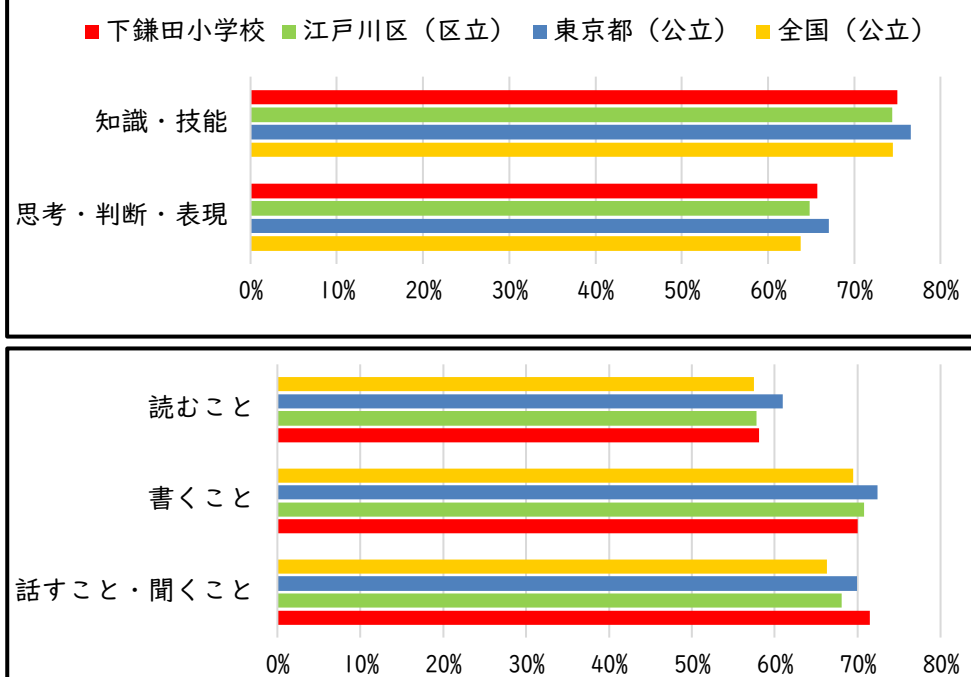
< 四分位における割合 (都全体の四分位による) >

上位 ← → 下位

国 語	A 層 12～14 問	B 層 10～11 問	C 層 8～9 問	D 層 0～7 問
下鎌田小学校	27.1	27.1	24.1	21.8
江戸川区(区立)	30.0	25.8	19.5	24.7
東京都(公立)	34.4	25.8	18.4	21.4
全国(公立)	27.7	26.0	20.9	25.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

下鎌田小学校	67.0%
江戸川区(区立)	68.0%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差	-3 ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

国語の平均正答率は、都平均を 3% 下回っているものの、全国平均は上回っている。

設問ごとにしてみると「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」設問に対する正答率が全国と比べ 6.7%、都平均と比べ約 5.9% 低くなっている。

「複数の情報を統合して自分の言葉で説明する」「条件を的確に捉える」「得られた情報を要約する」ことの指導の充実を図っていく必要がある。